

第2次 たかみやきすなプラン

数字で見る高宮学区の移り変わり

《人口の構成》

	0～4歳	5～19歳	20～39歳	40～64歳	65歳以上	合計
人数	455	1301	2442	2612	1373	8183
構成率	5.56%	15.90%	29.84%	31.92%	16.78%	

※四捨五入の関係上100%になりません

令和4年3月末現在（出典：彦根市）

《世帯数や高齢化率等の変化》

第1次プラン発行時（平成28（2016）年1月末）から令和4（2022）年3月末の約6年間の変化です。

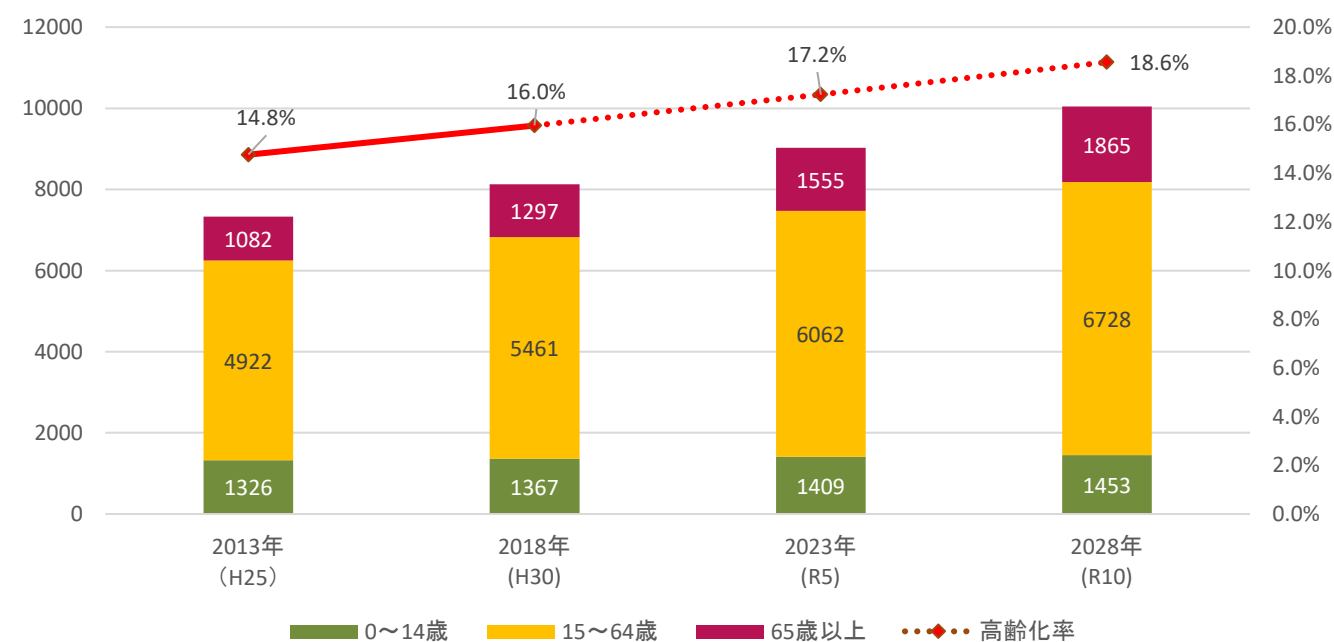
世帯数	3414世帯 → 3717世帯	高齢者のみの世帯数	204世帯 → 520世帯
高齢化率	15.1% → 16.8%	1人暮らし高齢者数	279人 → 376人

増加率
31.1%

平成28年1月末現在 → 令和4年3月末現在（出典：彦根市）

《年齢区分別人口の推移と将来推計》

2013年・2018年の人口から算出された2023年・2028年の人口推計です。



2023年・2028年の人口・高齢化率は推定値です。
（出典：第2期彦根市まち・ひと・しごと創生総合戦略人口ビジョン）

第2次 たかみやきすなプラン（高宮学区住民福祉活動計画）

策 定：彦根市社会福祉協議会

この計画書は、「赤い羽根共同募金」の助成金で作成しています



たかみやきすなプラン策定と推進のあゆみ

第1次たかみやきすなプランを作成するにあたり、高宮学区で福祉活動やまちづくりに携わるメンバーで計6回の住民福祉懇談会を開催しました。学区内の課題や今後必要と思われる取り組みを話し合い「こんなまちになったらいいな」という思いが詰まったプランが策定されました。

このプランを“みちしるべ”として、これまでの歴史と伝統を伝えていくとともに、新しいきすなづくりの場として「健康マージャンサロン」が立ち上がり、一人暮らしのお年寄りを見守るしくみ「ふれあい給食」もより多くの方に届く形に発展しました。元々あった近所の見守り合いを振り返り、より効果的なものにしていくための「見守り会議」を行う自治会も増えました。

令和2年から4年までは、時代の移り変わり、特に未曾有のコロナ禍によりこれまで築いてきた歴史と伝統の継承が困難となる事態と向き合いました。その中で、高宮に暮らす人と人の“きすな”を保ち、より強固にするための新しい“みちしるべ”となしてほしいという願いをこめて、第1次プランの思いをつなぐために、高宮に暮らす様々な方の声を集めたこの第2次プランが策定されました。

歴史と伝統、 新しい風

そして、ずっと大切にしたい
“ふるさと” たかみやへの思い

第2次たかみやきずなプランの策定にあたり、地域のために活躍されている方、まちの将来を考えている方からご意見を伺いました。
「歴史と伝統のまち たかみや」に更に「新しい風」を、というご意見からお聞きしたキーワードの一部をご紹介します。



納涼花火大会

太鼓祭り
花火大会
盆踊り



太鼓祭り

子ども達がいきいきと輝く
エンジョイウォーキング
駅コミ
5年後、10年後を考え
実行していくシステム



スポーツNo.1大会

スポーツNo.1大会

歴史

家族だけでは味わうことができない行事

笑顔からはじまる仲間づくり

宿場町を活かした観光地化

新しい風

高宮布



高宮小学校「創立150年を祝う会」

小学校での地元紹介

宿場祭

健康寿命を延ばす

高宮を好きになってほしい

たくさんの意見をきく

新旧住民の交流

創造

「市」のようなマルシェ

新しいイベント

住民に寄り添った近い存在

得意を活かせる地域活動

ふるさと体験教室

県内2番目の歴史ある高宮小学校

地域への愛着

まちあるき

文化祭

歴史の伝承

伝統

中山道を活かす



犬上川清掃奉仕活動

シルバー受け付け隊

地域で働く

若い人の意見



ふるさと体験教室



彦根市合併65周年記念式典

ほかにもこんな意見もありました！

- ・新しい風＝若い世代（子ども達）
- ・永く続く行事について理解してもらえれば、参加してもらいやすくなるのでは？
- ・新興住宅地の方の育ってきた環境なども聞くことができる場があれば
- ・1年ごとの積み重ねが5年後10年後につながる
- ・お年寄りに高宮の歴史を聞いて、楽しみながら1つでも残していきたい
- ・既存の居場所を見失った方も参加できるのが「本当の居場所」
- ・彦根市全体で学区ボランティアを募り、地域での活動を行ってもらう仕組みづくり

あなたが思い描く5年後10年後のたかみやは？

ご意見を伺った皆さんはそれぞれが大切にしたいもの、挑戦したいことへの気持ちをもっておられます。
その思いをもとに、5年後、10年後のたかみやへどうやってたどり着くかを考える、未来への希望をきずなとした場、『まちづくりの懇談会』を開いていきたいと考えています。